

## 平成24年度（社）鳥取県観光連盟事業計画（案）

### I. 基本方針

鳥取県観光連盟のあり方については、平成21年度に見直し検討委員会において、機能強化に関する検討結果がまとめられ、機能充実に向けたロードマップも策定されたところである。しかし、昨年3月の東日本大震災や経済・雇用情勢の低迷など観光を取り巻く環境は時々刻々と変動しており、当連盟のあり方についても、そのような状勢変化に機敏に対応できる柔軟性や機動性を考慮しつつ、例えば10年を単位とした将来ビジョンを改めて構想し、その実現に向けた行程を明らかにすべきであり、このような基本認識のもとに、平成24年度事業計画、予算編成を行うものとする。

### II. 事業の柱と考え方

#### 1 会員との連携強化による観光まちづくりの取り組み

(1) 東・中・西部圏域を単位とした部会を設置し、各理事は地域担当理事としての役割を担い、共通課題（将来ビジョンづくり、教育旅行の受け入れ体制づくりなど）、各圏域の課題について論議、又広域観光振興の観点からの観光素材の開発など観光振興策を主体的に取り組めるような組織基盤をつくる。

(2) 部会において提案された事業等については、一定の要件を満たす場合には、交付金事業等助成支援を行う仕組みとする。

#### 2 教育旅行を含めたニューツーリズムへのアプローチの強化

(1) 教育旅行やエコツーリズム、グリーンツーリズムなどニューツーリズムの普及促進の観点から研修会や先進地視察の実施などに取り組み、会員等による着地型旅行商品づくりへの支援、アドバイス機能（相談デスク）を強化する。

(2) 円滑な受け入れシステムづくりの観点から、ワンストップ窓口の構築（観光まちづくりプラットフォーム（仮称））をめざす。

#### 3 観光まちづくり人材の育成

(1) 平成24年度は大型キャンペーンが集中し、入り込み客の増加が見込まれるが、リピーターを増やすためには、観光地や観光施設、駅、宿舎などでのホスピタリティーの向上や環境美化などに努める必要があり、ようこそようこそ県民運動の浸透とともに観光従事者やガイドなど対象としたもてなし向上研修を県内各圏域ごとに順次開催する。

(2) 旅行相談や会員の販促活動や商品づくりに的確に対応できる専門職員の育成に努め、段階的に職員のプロパー化を進める。

(3) 大都市圏と県内市町村、観光地等とのパイプ役である各観光プロモーターの有する各管轄圏域の最新マーケット情報の迅速な伝達、又市町村等の観光魅力を効果的にプロモーションするため、市町村等との情報交換の機会を適時に、緊密に行う。

#### 4 大型キャンペーンを活用した新たな観光素材の販売戦略の展開と情報発信

(1) 山陰 DC キャンペーン、JTB 日本の旬キャンペーン、名鉄観光サービスキャンペーンなど全国キャンペーンがタイムリーに開催されることから、国際マンガサミット、まんが博覧会、山陰ジオパークや古事記神話など新たな観光素材の時宜を得た売り込み、PR 活動を強化する。

(2) 特に大都市圏での PR 活動は、会員間の横の連携を図り、共同プロモーションによる効率的、効果的な展開に努める。

(3) 旅行商品造成の実績を高めるため、旅行会社の招へい研修、情報説明会を重点的、効果的に実施するとともに、その成果を的確に検証する。

(4) ホームページやパンフレットなど情報ツールの一元化（県から移譲の予定）による情報力の強化を図る。

#### 5 まんが王国とっとり建国の推進

(1) 県の取り組みと連携を図りながら、「ようこそようこそまんが王国とっとり事業」、「ゆるキャラカップ実施事業」など周遊イベントなどに取り組む。

#### 6 公益財団法人移行手続きの推進

(1) 平成25年4月移行をめざし、通常総会での定款、移行認定申請決議を経て、以後申請手続きを速やかに進める。

### Ⅲ 事業計画案

#### 1 地域受け地づくり対策推進事業

(1) 地域魅力づくり支援事業 (2) に統合 0千円 (1, 340)

(2) 着地型旅行商品・旅行相談情報発信事業 (継続) 17, 018千円 (14, 980)  
→ 二次交通を含めた着地型旅行商品を観光客へ紹介し情報発信するためのパンフレットを作成しインターネットでも情報発信を行うとともに、県外イベント等での旅行相談業務による地域の情報の発信を行う。(含 AGT 派遣課長人件費)

(3) 山陰文化観光圏事務局運営事業 (継続) 5, 804千円 (5, 972)  
→ 山陰文化観光圏域内の鳥取県内の各観光地や異業種間の連携を調整するためコーディネーター等による山陰文化観光圏鳥取県事務局の機能強化を図る。

(4) 観光人材力強化向上事業 (継続拡充；旧観光従事者等育成事業) 1, 000千円 (224)  
→ 受地人材のスキルアップを図るため、もてなし講座等を実施。

- (5) **教育旅行誘致促進体制整備事業（継続拡充）** 2, 000千円（2, 000）  
→ 体験的教育旅行を県内に誘致するため、受入体制の整備強化及び教育関係者等の現地視察を実施する。  
→ 鳥取県への体験型教育旅行に利用されるバス代支援を行う。
- (6) **観光事業優良従業員表彰（継続）** 100千円（100）  
→ 多年にわたって、鳥取県観光開発及び観光事業の推進に貢献し、その功労が特に顕著な者を表彰する。
- (7) **グリーンツーリズム推進事業（新規；受託事業）** 2, 483千円  
→ とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会から事務局業務を受託する。  
（人件費1名分含む）  
→ 教育旅行等受け入れ促進も視野に入れた受け地体制整備の県内のモデルとして位置づけた支援を行う。

## 2 観光客誘致対策旅行商品強化事業

- (1) **AGT招致事業（県外旅行会社等対策事業）（継続）** 4, 000千円（4, 000）  
→ 首都圏、中京圏、関西圏、中四国・九州圏の各圏域の旅行会社実務担当者を対象に、旅行商品造成、販売につながるよう鳥取県の現地研修を効果的に実施する。
- (2) **観光素材説明会等開催事業（継続）** 2, 000千円（2, 000）  
→ 首都圏、中京圏、関西圏、中四国・九州圏の各圏域の旅行会社を対象に、会員と連携しながら、新規の観光素材をとりこんだきめ細かな説明会、商談会（相談会）を実施する。
- (3) **ジオツアー造成推進事業（継続）** 2, 500千円（4, 500）  
→ 山陰海岸ジオパークをテーマとした旅行商品造成のため、旅行会社商品造成担当者を対象に現地研修、素材説明会を開催する。
- (4) **観光プロモーター活動事業（継続；一部見直し）** 22, 489千円（29, 548）  
→ 首都圏、中京圏、関西圏、中四国・九州圏の各圏域において、観光プロモーターが、圏域内の各種情報を収集するとともに、圏域内の旅行会社等を訪問して鳥取県の旬の観光素材の売り込みを行い、鳥取の旅行商品造成と販売促進を図る。又市町村等との意見交換会を積極的に行う。（含観光プロモーター3名人件費）

## 3 観光客誘客キャンペーン事業

- (1) **ようこそようこそ鳥取誘客キャンペーン事業（継続）** 5, 000千円（5, 800）  
→ 会員と連携共同して、鳥取自動車道開通や九州新幹線開通、又航空機材の大型化

や増便などの状況を踏まえながら、誘客キャンペーンPR資料の作成、県外の大型集客施設、高速道路サービスエリア、旅行会社店頭、イベント会場等における着ぐるみや観光大使等によるPR、観光資料、ノベルティ配布等により鳥取県観光をPRし個人客の誘客を図る。

**(2) ようこそようこそ！まんが王国とっとり建国！PR事業（新規）** 10,000千円  
(10,000)

→ 「まんが王国とっとり」をテーマに県内の周遊を促すため、オリジナルまんが関係グッズを記念品として作成し、県内の観光地を訪れた方にプレゼントする等により県外からの誘客を促進する。

**(3) 山陰デスティネーション推進事業（継続；臨時）** 27,500千円（12,500）

→ JRグループ6社と山陰（鳥取・島根）両県の観光事業者、行政が一体となって、広域キャンペーン「山陰デスティネーションキャンペーン」を実施する。

（鳥取県、鳥取県観光連盟、島根県、JR西日本米子支社）

→ キャンペーンの本番を控え、4月下旬から5月中旬にかけて、大都市圏での観光情報説明会を開催するとともに、宣伝事業、誘致対策、受入対策の3本の事業の柱を中心に緊密な連携の下に効果的な事業展開を行う。

**(4) JRとの観光キャンペーン事業（継続）** 2,000千円（2,000）

→ 山陰観光連盟山陰路部会事業として、JR・島根県と連携して実施。

事業費：6,000千円

（鳥取県観光連盟、島根県、JR西日本米子支社 各2,000千円）

**(5) 鳥取県観光情報発信・誘客展開事業（組替新規）** 2,000千円（6,000）

→ 東日本大震災後の観光産業を取り巻く状況は、いまだに不安定要因を抱え、先の見通しなど予測しにくい状況にもある。そのような中、本県への誘客を確実なものにしてゆくため、旅行会社等であって、特に本県向けの旅行商品の造成等に取り組み、入り込み増に直結すると認められる企画に対し、助成支援する。

**(6) 「ゆるキャラ@カップ in 鳥取砂丘」開催支援（組替新規）** 0千円（1,800）

→ まんが王国とっとり建国関連事業（県）としての開催に対し、ノウハウを有する観光連盟として、実施協力に当たる。（実行委員会受託事業）

#### 4 情報発信・宣伝事業

**(1) インターネット対策・情報一元化事業（継続・拡充）** 18,308千円  
(1,300)

→ 県及び観光連盟ホームページの一元化を図り、内容充実や最新情報の掲載に努め

るとともに、インターネット広告やホームページでのプレゼントキャンペーン等によるホームページ閲覧数の増加と効果的なPRに努める。

さらに、観光パンフレット等を機動的に作成するため、発行・配布業務を県から受託する。

- (2) 観光情報収集・発信活動事業(継続;一部縮小) 5,094千円(22,998)  
→ 事務局において県内におけるきめ細やかな各種情報の収集や情報発信のための活動を実施するとともに、山陰文化観光圏鳥取県事務局での観光圏域内の観光情報の収集と情報提供や山陰文化観光圏整備事業の調整業務。

- (3) 観光連盟推薦みやげ品PR事業(継続) 200千円(200)  
→ 推薦みやげ品点数の増に努めるとともに、推薦品のPR活動を強化する。

- (4) 鳥取観光親善大使活動事業(継続) 1,200千円(700)  
→ 「とっとり観光親善大使」が観光イベント等諸行事やキャンペーン活動等に参加して、鳥取県の観光PRを行う。今年度は、現大使の謝金を支払うとともに、新大使の採用・研修を行う。

## 5 会員等との誘客連携事業(収益事業)

- (1) 他団体との協同・連携事業(継続) 3,000千円(3,000)  
→ 県旅館ホテル生活衛生同業組合、県観光施設連絡協議会等と連携し、旅行会社への売り込み、外国人観光客誘致活動、県内観光施設のキャンペーン企画等を実施。  
配分 県旅館組合(活性化協議会) 2,500千円  
県観光施設連絡協議会 400千円  
美水の郷・古代ロマンウォーキング大会 100千円

- (2) 地域部会設置運営・支援事業(新規) 2,000千円  
→ 会員の意識向上や相互連携を図るため、東・中・西部圏域単位に地域部会を設置し、共通課題の解決、新たな観光素材の開発や魅力づくりに取り組む。  
→ 部会で協議され、広域観光振興に寄与すると認められる事業に対しては、交付金事業として採択、支援する。

## 6 収益事業

- (1) 観光PRノベルティ作成事業(継続;一部新規) 2,000千円(1,600)  
→ 鳥取県の観光名刺、PR用キャリーバック等を作成する。

**【廃止事業】**

- (1) 鳥取牛骨ラーメン支援事業 廃止 (1, 000)
- (2) 美水の郷支援事業 廃止 (1, 500)
- (3) ゆるキャラカップ実施支援事業 廃止 (1, 800)
- (4) 東京アンテナショップ観光説明員の廃止 (ふるさと雇用)

【参考資料】

平成24年以降県内で行われる主な観光関連イベント・キャンペーン事業等

時 期	名 称	概 要	備考
24年1月～12月	名鉄観光サービス 山陰・山陽キャンペーン	名古屋を拠点とする名鉄観光サービスが全国支店をあげて行うキャンペーン(山陰は初)	
24年4月～9月	JTB「日本の旬」 キャンペーン	旅行業の最大手JTBが全国的に行う瀬戸内・山陰キャンペーン 2/29キックオフ	
24年3月23日～ 3月25日	エンジン01オープンカレッジ in鳥取大会(於:鳥取市)	各分野の著名人が鳥取に一堂に 会し、地域の人と交流する事業	
24年10月～12月	山陰デスティネーション キャンペーン	JR6社と共同で行う観光キャンペーン ・24年4月～5月大都市圏での情報説明会 ・5連ポスター作成 ・イベントガイドブック作成 ・TVCM, 旅の手帖	
24年10月～3月	KNT山陰方面全国 キャンペーン	近畿日本ツーリストの全国キャンペーン。かにバスも絡め、県内でのバス運行など	2月実施決定
24年8月～11月	国際まんが博覧会	県内各地での展開	
24年11月7日～ 11月10日	国際マンガサミット鳥取大会 (於:米子市)	各国の漫画家が集うシンポ事業等に併せて県等で関連事業を実施予定	
25年春	全国植樹祭	花回廊を主会場として植樹事業	7千人
25年9月21日～ 11月10日	全国緑化フェア鳥取大会	湖山池周辺を主会場として約50日間にわたって開催される緑化推進事業	30万人以上
25年秋	エコツーリズム国際大会 2013in鳥取	大山・中海エコツーリズム協議会が中心となって実行委員会結成。県西部を主会場	外国500含め 2千人規模